

2012年  
4月8日(日) ● 13時30分開場 ● 14時00分開演  
東京国際フォーラムホールC



# 第116回日本眼科学会総会

## 市民公開講座

開会挨拶 高野 繁 (日本眼科医会会長)

14時00分~14時20分 **第1部** 特別講演 目の再生  
 講師 木下 茂 (京都府立医科大学眼科学教室教授)  
 座長 濱崎 陞 (東京都眼科医会会長)

14時30分~16時30分 **第2部** ミュージカル パパからもらった宝もの  
 閉会挨拶 坪田 一男 (第116回日本眼科学会総会総会長)

©2011 Takashi Murakami/Kaikai Kiki Co., Ltd. All Rights Reserved.

脚本：嶽本あゆ美 演出：青砥洋

# パパからもらった宝もの

入場：無料  
定員：800名

※先着順・事前申込みなし。  
当日直接会場にお越しください。  
お席がなくなり次第、受付終了となります。

●3歳以下のお子様はご入場できません。

原作：坪田 一男  
出演：劇団 BDP  
児童劇団「大きな夢」  
音楽：片野 真吾  
振付：中尾 弘隆

**主催** 財団法人日本眼科学会  
**後援** 社団法人日本眼科医会  
 社団法人東京都眼科医会  
**医事監修** 篠崎 尚史、島崎 潤、満尾 正  
**企画・制作** 劇団BDP  
 株式会社メディプロデュース

●公演に関するお問い合わせ先  
第116回日本眼科学会総会運営事務局  
03-5775-2075  
<http://www.mediproduce.jp/116jss/>

### 知っていますか？ アイバンクのこと。

年間2~3万眼の角膜が必要と予測される日本で、実際の移植件数は年間1500眼程度。  
多くの患者さんが移植できる日を待っています。

# パパから

## Story

# 宝もらった

舞台はある大学病院のアイバンク。城田ミカは角膜移植コーディネーター研修中の新人。ある深夜、初めて遺族への対応に呼び出されたミカは、誤ってERに迷い込む。そこで垣間見た交通事故の犠牲者とその遺族の悲劇は、彼女の心を大きく揺さぶる。深い悲しみの中で献眼を申し出る遺族、そしてそれを受けて動き出す角膜移植。移植されたドナーの角膜は、二人の少年少女に光をもたらすが、人々の運命は複雑にからみだし、新たな悲しみと喜びのドラマを生む。

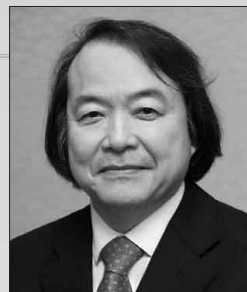
コーディネーター・ミカの成長物語とそれを取り巻く様々な人間ドラマを描く、「命の尊さ」と「見える幸せ」について問いかけるミュージカル。舞台で繰り広げられる感動と共に、坪田一男教授や日本で一番最初に角膜移植手術を行った、岩手医科大学名誉教授今泉亀撤先生のインタビューなどを通して、角膜移植、アイバンクの歴史、再生・移植医療の未来について描く。また、薬物による副作用からステイロプルス・ジョンソン症候群となり視力を失ったバイオリニスト・川島成道氏の演奏映像なども交え、医療情報の正しい啓発に努めたいと考えている。さらに、移植医療に代わる医療として、注目を集めている再生医療については、京大の山中伸弥教授にインタビューにお答えいただいている。

## Special Lecture 特別講演 目の再生

### 木下 茂 先生

京都府立医科大学眼科学教室 教授

体の中でももっとも早く再生医療が実現したのが、実は「目」です。目の真ん中にある透明な部分が「角膜」。その病気の一部を再生医療で治療ができるようになりました。今、他の目の病気も再生医療で治せるように研究がすすめられています。「目の再生」について、未来の夢も含めてお話いたします。



## Message

### 高久 史磨 先生

自治医科大学学長・国立国際医療センター名誉総長

私は 2009 年の春にこのミュージカルを拝見する機会があった。このミュージカルでは角膜移植の歴史や仕組み、そして未来が雄弁に語られており、あっという間の 2 時間だった。見える事の大切さを楽しく学べるこのミュージカル 2011 年度バージョンに強く期待をしています。



### 中井 治 先生

衆議院予算委員会委員長 民主党目を守る議員連盟会長

「目が見えない」という事が、人生を生きる上でどんなに大変な事かを考えさせられたミュージカルでした。又、坪田先生を始め眼科学会の皆さんが、日々、研鑽を積み、目の健康について幅広い啓発活動をされている事を本当に実感させられるミュージカルです。沢山の方々に共鳴いただく事を切に願います。



### 中内 啓光 先生

東京大学医科学研究所 幹細胞治療研究センター幹細胞治療分野 教授

移植医療の実際、再生医療の可能性を分かりやすく、そして楽しく伝えるのに、ミュージカルという手段がこんなに有効だとは驚きでした。どうぞ楽しみながら、すぐそこまで来ている新しい医療の可能性を感じてください。



### 吉田 統彦 先生

衆議院議員・眼科医師

混迷する現代に求められる不撓不屈の精神と勇氣、命、そして見えることの尊さ。『パパからもらった宝もの』は視力を失い、「苦悩」と「葛藤」の中でもがきながらも、角膜を提供してくれた故人やご遺族、アイバンク、そして家族や医師をはじめとした多くの人々の思いに支えながら勇氣を持って角膜移植手術に臨む患者のいき方を描き、現代社会に生きる私達に「命の尊さ」と「見えることの喜び」を問いかける作品です。この作品が光を失いながらも必死に生き抜いている全ての人への応援歌となり、日本ミュージカル史上に残る作品となる事を確信します。



## Access



## 東京国際フォーラム ホールC

東京都千代田区丸の内3丁目5-1

- JR有楽町駅より徒歩1分
- JR東京駅より徒歩5分(京葉線東京駅とB1F地下コンコースにて連絡)
- 東京メトロ有楽町線: 有楽町駅とB1F地下コンコースにて連絡
- 東京メトロ日比谷線: 銀座駅より徒歩5分/日比谷駅より徒歩5分
- 東京メトロ千代田線: 日比谷駅より徒歩7分
- 東京メトロ丸ノ内線: 銀座駅より徒歩5分
- 東京メトロ銀座線: 銀座駅より徒歩7分
- 東京メトロ三田線: 日比谷駅より徒歩5分